

BANDELIN超音波洗浄器フローチャート

■ STEP 1 : 使用前の準備

- ✓ 専用の網カゴ、ガラスビーカーなどを組み合わせて洗浄する付属品を使用し洗浄を行うことを推奨します。

直接洗浄

1. 洗浄槽に水を約1/3程度注ぐ。
2. 適切な濃度の薬液を注ぐ。
3. 水位線まで静かに水を注ぐ。

間接洗浄(ビーカー使用)

1. 洗浄槽に水を約1/3程度注ぐ。
2. 適切な濃度の薬液を注ぐ。
3. 専用ビーカーに原液、及び希釈液を注ぎ、水位線よりも少なめに水を注ぐ。
※ビーカーを入れてから追加で水を注ぐ。

■ STEP 2 : DEGAS機能

- ✓ DEGAS機能は超音波の洗浄効果を促進する働きがあります。DEGASを行い溶液中に含まれる余計な気体を取り除くことにより超音波の洗浄効果を促します。
- ✓ 専用の蓋をかぶせ、DEGASスイッチをONにする。10ℓ未満の洗浄器は10分、10ℓ以上の洗浄器は30分のDEGASを行う。

■ STEP 3 : 水温設定

- ✓ 専用の蓋をかぶせ、温度を設定してください。
- ✓ 高温度になるほど器具やバーのしつこい汚れが落ちやすく、洗浄時間の短縮につながりますが、**血液や蛋白質系の物質が付着した器具を40℃以上で洗浄すると、金属に凝固付着するため、血液が付着した器具は必ず40℃以下で洗浄してください。**

■ STEP 4 : 超音波洗浄の開始

- ✓ 超音波洗浄を行う際には、洗浄槽、及び溶液が汚れていないかの確認を行います。

直接洗浄

1. ステンレスバスケット内に器具や洗浄物を入れ、洗浄槽に掛ける。
2. 洗浄物が全て溶液に浸かっているのを確認する。
3. 全ての洗浄物を入れ、水位の調節を行う。

間接洗浄

1. ステンレスビーカーホルダーを取り付け、ビーカーを入れる。
2. プラスチックバスケットはそのまま洗浄槽に入れる。
3. ビーカーが槽内で2cm以上溶液に浸っているのを確認する。
4. 水位の調節を行う。

※ 注意点

- ✓ 器具が重ならないよう、また均等に散らばるように置いてください。
- ✓ 大量の器具の一度に洗浄をしようとすると洗浄効果が減退することがあります。
- ✓ しつこい汚れがある部分を下面に置いてください。
- ✓ 抜歯鉗子などのハサミ器具などは開いた状態で溶液に浸してください。

■ STEP 5 : 操作設定

- ✓ 器具及び洗浄槽の保護を図るため短時間の洗浄を推奨しますが、しつこい汚れを落とす場合には長時間の洗浄が必要です。
- ✓ 蓋をかぶせて、時間設定と温度設定の調節をし、超音波洗浄のスイッチをONにする。

■ STEP 6 : 洗浄物の取出し

- ✓ 器具を洗浄後に洗浄槽に放置しておくことは器具の損傷につながるため、洗浄後は速やかに器具を取り出してください。
- ✓ 超音波洗浄のスイッチをOFFにします。
- ✓ ビーカーやプラスチックバスケットを洗浄槽から取り出し、水平な場所に置いてください。
※洗浄時間、設定温度により器具やバスケットに熱を帯びていることもあります。
- ✓ 洗浄終了後、器具は十分に水洗してください
- ✓ 次の洗浄を行う前に、必要に応じて洗浄槽内の溶液を入れ替えてください。

■ STEP 7 : 洗浄槽の洗い方

- ✓ 長時間の使用後に洗浄槽内の溶液を空にした際に、洗浄槽の底に汚れなどが溜まっていると洗浄効果を妨げる可能性があります。きれいに取り除いてください。
- ✓ スwitchをOFFにしてから電源コンセントを抜いてください。
- ✓ 洗浄槽に排水バルブが付属している場合は、排水バルブを緩め排水します。排水バルブが付属していない洗浄器は表示パネルを正面にして左側後ろから排水してください。この時、排水液が飛び散らないようご注意ください。
- ✓ 洗浄槽を空にした後、十分に水で洗い流してから最後に槽内の水分を拭き取ってください。